

団体名

糸満市立糸満南こども園

連絡先 TEL : 098 - 994-3734

Eメール : itominamikodomo@city.itoman.lg.jp

## 1 実践事項 (①幼・こ・小・中・高・地域・関係団体との連携)

### 「なめらかな幼小接続を目指して」

## 2 実践内容

### ○校区ごとの接続期カリキュラム作成

- ・小学校、幼児教育施設(4園)がそれぞれの実践をもとにお互いの教育を理解しながら育てたい姿を共有し、幼小の滑らかな接続のために共通のカリキュラム作成に取り組む。(説明資料①)

### ○合同研修会(情報交換会)の実施

- ・1年生の授業参観を行い、参観後に入学後の育ちや園生活での様子などの情報交換会を行う。
- ・オンラインにて、教育委員会から今年度の取り組みについての説明、実践発表や講話等を聞き、幼小接続への理解を深める。
- ・本園にて公開保育を行い、幼小各施設の参観者からの気づきを後日、園内で共有し、今後の保育実践につなげられるようにした。(説明資料②)

### ○幼児・児童の交流

- ・幼児の小学校施設見学、運動会練習の見学、2年生おもちゃ祭りへの参加等を通して、憧れや期待をもつ。(説明資料③④)

## 3 説明資料(写真、グラフ、図、表など)



①接続期カリキュラム作成



②公開保育



③小学校見学



④2年生とのおもちゃまつり

## 4 成果

- ・校区ごとの接続期カリキュラムを作成するにあたって、お互いの教育について知り、育てほしい姿を共有しながら「子どもの発達や学びをつなぐ」という同じ目的に向かえたことは、「連携」から「接続」への第1歩となった。
- ・幼児教育施設と小学校の職員が同じ研修を受けたことで、幼小教育の接続への理解を深め、大切にしたいことの共通理解ができた。
- ・公開保育を実施したことで、園児の遊びの中での姿が、どのような育ちにつながるのかを参観者に読み取っていただき、後日、園内で共有できたことが学びとなった。
- ・コロナ禍の中でも交流や施設見学の方法を工夫したことで、園児は就学に対する期待や小学生への憧れ、親しみをもつことができた。

## 5 課題

- ・作成した接続期カリキュラムに基づいた教育保育を進めていく中で、連携施設間で育ちを確かめたり意見交換を交わしながら、検証や修正を重ねていく。
- ・園生活の中で就学に向かって育ちつつある姿やその過程を、園の職員だけでなく保護者や小学校へ発信していく。
- ・今年度は計画しつつ実現しなかったが、園児が触れ合い刺激を受け、職員もお互いの教育保育について情報共有ができるよう、連携園同士が交流する場を設け、横のつながりも大切にしたい。